

施策評価シート(平成24年度評価実施)	担当部課名	文化スポーツ課	関連部課名	博物館 (教)庶務課(図書館)
基本目標	こころ豊かに夢をはぐくむまちづくり【教育・文化】			
施策名	文化・芸術			
蒲郡独自の文化・芸術活動を守り育てていくために、市民との協働による文化講演事業の充実、市民団体の自主的な活動の支援、郷土の伝統文化や伝統産業の保存・活用、文化施設・設備の計画的な改修などの取組を推進します。				
施策が目指す蒲郡市の将来の姿				
<ul style="list-style-type: none"> ●文化・芸術活動が日常に溶け込んでいます。 ●郷土の歴史や文化、産業を学び、蒲郡に誇りを持つ市民が増えています。 				

◆具体化した施策の取り組み実績

1 市民参加型・共催型の文化公演の実施

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
文化公演事業	忍たま乱太郎キャラクターショー&へんげん遊ぼう 570人	—	愛知県立芸術大 学オーケストラ (予) 1200人
	林家たい平講演&落語会 655人		宝くじふるさとワクワク劇場 (予) 1200人
指定管理者による自主事業	ジャズコンサート 128人	市民会館まつり 4,080人	市民会館まつり他 (予) 5,000人
	ハンドメイド雑貨販売 850人	東北支援チャリティー 1,257人	— 人
図書館文学講座	講演:子どもが本に出会うとき:講師:赤木かんな子 69人	講演:短歌の楽しみ:講師:徳村 弘 71人	講演予定 (予) 100人

2 郷土の伝統文化の保存と活用

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
コミュニティー活動事業	拾石チャラボコ屋形等新調	東松原常会おかぐら等新調	東小江常会チャラボコ太鼓継承
文化財保護事業	三谷祭等保存振興に伴う補助	三谷祭等保存振興に伴う補助	三谷祭等保存振興に伴う補助

3 文化財の活用と市民団体との連携

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
史跡天然記念物整備事業	第5次上ノ郷城跡発掘調査	同第6次調査、報告書刊行	今後についての検討
上ノ郷城跡を愛する会	観月会	観月会	観月会
清田の大クス愛好会	土壌改良	土壌改良	土壌改良

4 文化施設の充実と改修計画の策定

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
市民会館修繕及び工事	<ul style="list-style-type: none"> 大ホール舞台吊物機構取替工事 地上デジタル対応共同アンテナ設置工事 大ホールロビー硝子取替工事 中ホール8~16列客席床改修工事 中ホール1~7列客席床改修工事 大ホールトイレ改修工事 非常放送対応工事 	<ul style="list-style-type: none"> 東棟非常照明バッテリー取替工事 大ホール舞台床改修工事 駐車場白線設置工事 東ホールトイレ自動水栓取替工事 消火器等取替工事 東ホール空調機整備他工事 中ホール舞台改修工事 劣化消火栓ホース取替工事他1件 	<ul style="list-style-type: none"> 屋上防水工事 蓄電池設備更新工事 大ホール玄関口タイル張替工事 館内親子時計取替工事 市民会館ボイラー取替工事
市民会館の改修計画の策定	—	—	公共施設見直し検討委員会立ち上げ
図書館蔵書・資料の充実	年度末 283,601冊	年度末 280,374冊	年度末 280,000冊見込
図書館整備計画の策定	—	—	公共施設見直し検討委員会立ち上げ

◆評価指標

指標名	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	将来目標
市民参加型・共催型の文化公演参加率	目標値		89%	93%	95%
	実績値	52%	89%		平成32年度
郷土の伝統文化の保存と活用経費	目標値		3,801千円	3,658千円	3,500千円
	実績値	3,551千円	3,247千円		平成32年度
文化財保護費と市民団体との連携経費	目標値		7,601千円	985千円	7,500千円
	実績値	6,925千円	7,735千円		平成32年度
市民会館の修繕・工事費	目標値		13,500千円	81,500千円	4000,000千円
	実績値	60,835千円	8,486千円		平成32年度
図書館蔵書・資料数対前年度比	目標値		98.0%	99.8%	100.0%
	実績値	99.6%	98.9%		平成32年度
図書館文学講座参加率	目標値		70%	75%	80%
	実績値	69%	71%		平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
市民参加型・共催型の文化公演参加率	定員に対する参加者割合。講座の人気度などを測る。
郷土の伝統文化の保存と活用経費	当該年度の文化財保護事業費補助金。
文化財保護費と市民団体との連携経費	当該年度の文化財保護事業費(補助金を除く)。
市民会館の修繕・工事費	当該年度の修繕料及び工事請負費。
図書館蔵書・資料数対前年度比	前年度に対する蔵書・資料数の割合。安定した数の蔵書・資料の確保ができていのかどうかを検証。
図書館文学講座参加率	定員に対する参加者割合。講座の人気度などを測る。

◆指標の分析

・「市民参加型・共催型の文化公演参加率」－文化公演事業については、民間主導で実施するべきとの考えから、その一つとして、平成22年度より指定管理者による自主事業を行ってきた。この2年間において、大きな成果を見出してはいないが、利用者の声を聞く等しながら企画し、少しずつではあるが数字に表れ始めている。

・「郷土の伝統文化の保存と活用」－費用の面で市やその他財団等の補助金で賄っている中、伝統文化の保存と活用について一定の水準を保っている。

・「文化財の活用と市民団体との連携」－文化財保護に市民の関心を持っていただくことが大切であると考えている。そのため、上ノ郷城跡のように地元と関係を密にし、説明会や観月会等を行なうことにより、地元の文化財という思いを育てている。

・「市民会館の修繕・工事費」－市民会館は老朽化が顕著で、全てを修繕・改修するには費用が膨大にかかる。現在、少しの雨でもホールや会議室に雨漏りが生じる状態である。

・「図書館蔵書・資料数対前年度比」－対前年度比現状に適した図書館施設の蔵書・資料の収蔵数は約28万冊前後であるため、その範囲を逸脱しない方向での蔵書・資料管理を行うことができている。

・「図書館文学講座参加率」－図書館文学講座については、定員の7割前後が講座に参加している。講座の日程、講師の人選なども、講座の人気度を左右する要素となりうるが、魅力的な内容の提示がなければ、市民の自発的な参加を促すことはできないため、現在の方向で進めていくのが望ましい。

◆今後の方針

施策の課題	<ul style="list-style-type: none">・「市民参加型・共催型の文化公演の実施」－平成22年度より市民会館の指定管理者による自主事業を行ってきた。現在、自主事業の費用は指定管理料の余剰金を当てている状態であるため、年度によって自主事業内容や実施事業数に差ができる。・「郷土の伝統文化の保存と活用」－その費用が市やその他財団等の補助金で賄っているため、今後は不安定な状況に陥ることもある。また、少子高齢化に伴い費用面だけでなく人的な問題もある。・「文化財の活用と市民団体との連携」－市の単独予算で費用を賄っており、郷土の伝統文化の保存と同様に費用的に不安定な状況にある。・「市民会館の修繕・工事費」－市民会館については大規模な改修が必要となり、多額の予算措置を伴うため、文化スポーツ課が単独で改修計画を策定は出来ない。・「図書館文学講座参加率」－講座日程については、事前に市の他イベントのスケジュールを十分情報収集した設定に心がけ、個性的かつユニークな講師人選を行うことで、講座の人気度を高める。・「図書館蔵書・資料数対前年度比」－図書館蔵書・資料数という量的な部分については対応できているが、質的な部分については、数値で把握することが困難である。利用者アンケート結果を参考にした蔵書・資料購入を心がけるとともに、公共図書館としての役割を果たすために全ジャンルに渡るバランスの取れた蔵書・資料購入に留意する。
-------	--

今後の施策展開	<ul style="list-style-type: none">・「市民参加型・共催型の文化公演の実施」－次回からの指定管理更新において、募集要項等の仕様中に明記し積極的に企画することを促す必要がある。現状、市費単独での文化公演事業は考えていないが、他財団や国の助成事業の公募に応募し対応する。・「郷土の伝統文化の保存と活用」－保存費用は市やその他財団等の補助金で補っている。計画的な市の予算措置が必要である。また、地域コミュニティを通して、伝統文化の継承と活用を考えていくことも必要である。・「文化財の活用と市民団体との連携」－市の単独予算で費用を賄っており、郷土の伝統文化の保存と同様に不安定な状況であり、市の限りある予算を効果的に措置し、蒲郡市の後世に引き継ぐ重要な文化財の保護を安定的に行なう必要がある。・「文化施設の充実と改修計画の策定」－市民会館、市民体育センター、図書館、公民館、公園グラウンドなどの文化施設や体育施設は、多額の改修費を必要とするため、市全体の蒲郡市公共施設見直し検討委員会で整備計画を決定していく。現状は、補修工事や修繕料で対応していく。・図書館に関する短期的に考えられる施策の展開としては、安定した図書館運営のため、次回指定管理者公募では指定管理期間の3年度から5年度間への延長を提案する予定である。
---------	---

課長評価 (文化スポーツ課)	構成事業の 進捗状況	B:おおむね計画どおり進行している。
	施策の 進め方	B:一部見直しが必要である。
	コメント	市民会館を始めとする文化施設は老朽化が進んでいるため、市民が快適に利用できるよう施設の改善・整備が必要であり、蒲郡市公共施設見直し検討委員会において早期の整備計画の構築が望まれる。 現在、十分な文化公演事業を行っているとは言い難い。行革委員会でも指摘があったとおり、民間主導での開催を目指し、市民会館の指定管理者・文化協会等との連携を図ることが必要である。 市が関わるべき公演事業については、公募がある場合は積極的に動いていくが定期的ではないため詳細な予定を立てることは難しい。
課長評価 (博物館)	構成事業の 進捗状況	B:おおむね計画どおり進行している。
	施策の 進め方	A:現状のままでよい。
	コメント	郷土の伝統文化については、限られた予算の中で一定の成果を上げている。文化財の活用と市民団体との連携については、保護を第一に置き、市民団体と連携を高めながら活用に努めている。
課長評価 (庶務課)	構成事業の 進捗状況	B:おおむね計画どおり進行している。
	施策の 進め方	B:一部見直しが必要である。
	コメント	図書館は、市民のニーズが高い施設であり、その整備についても期待が大きいものと思われる。そのことも踏まえながら、今後、公共施設見直し検討会の中で優先順位の検討をしていきたい。
部長評価	施策の 進捗状況	B:目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり順調に進行している。
	コメント	一口に文化・芸術といっても幅広いものがあり、行政が関われる部分も限定的にならざるを得ない。特に、文化公演事業は、市が前面に出るよりも、民間主導への応援といったスタンスの方が効率的であると考えます。 文化財保護については、「市民共通の財産」という意識の醸成が大切であるが、まずは地域との密接的な関係を築きながら守って行く努力を、今後とも続けていく必要がある。 市民会館や図書館など施設面の老朽化は、市の施設全体共通の課題であり、学校施設同様に計画的な整備を迫られている。

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費 (千円)	人工	総合 評価	事業の 種別	市長 マニユアリスト	実施 計画
5-3	情報NC	42	科学館展示事業	8,397	6,693	1.70	B	カ	2	○
5-3	情報NC	43	科学館教育普及事業	35,400	12,113	3.65	A	カ	2	×
5-3	情報NC	44	科学館(センター)宣伝事業	2,798	7,332	1.65	A	カ	-	×
5-3	情報NC	45	科学館施設維持管理事業	4,542	7,163	1.30	B	ウ	-	×
5-3	庶務課	500	教育施設整備事業基金積立事業	330,000	919	0.10	B	エ	4	×
5-3	庶務課	501	図書館管理事業	113,346	1,300	0.15	B	ア	-	×
5-3	文化スポーツ課	526	俊成の里短歌大会開催事業	530	4,065	0.65	A	オ	-	×
5-3	文化スポーツ課	527	文化振興事業	2,300	2,754	0.50	B	オ	-	×
5-3	文化スポーツ課	533	市民会館管理運営事業	112,877	4,688	0.90	B	カ	4	○
5-3	博物館	554	博物館施設維持管理事業	8,731	6,354	0.80	B	カ	-	○
5-3	博物館	555	郷土資料の収集保管及び調査研究事業	1,181	4,963	0.70	B	カ	-	○
5-3	博物館	556	貸しギャラリー運営事業	391	5,725	0.80	B	カ	-	×
5-3	博物館	557	企画展等開催事業	230	6,766	0.90	B	カ	-	×
5-3	博物館	558	文化財保護事業	8,482	6,302	0.80	B	カ	-	○